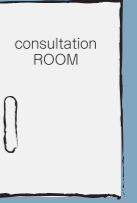




内科（腎臓）科長
三戸部 倫大
みとべ みちひろ

きょうは
内科
です



こんにちは
診察室です。

慢性腎臓病について

はじめに

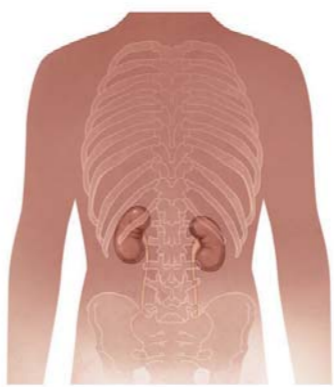
腎臓は、「人間の体を正常な状態に保つ」役割を持つ大切な臓器です。昔から「肝腎要（かんじんよう）」などと言って、大切なものたぐえに使われるほどです。腎臓がだめになってしまうと、生きるために透析や腎臓移植などの治療が必要になります。また、軽症であっても腎臓が悪くなると、心筋梗塞や脳卒中などの命にかかわる病気になります。腎臓のこともわかってきました。腎臓のことをよく知るために、「人間の体を正常な状態に保つ」とはどういうことを考えてみましょう。

海から陸へ

太古の昔、生命は海で誕生し、海から川へ、さらに陸上へと進化しました。この進化の過程で生命を維持するためには、海に近い環境を生体内に保存する工夫が必要でした。この役割を担ったのが腎臓です。尿を薄くしたり（希釈）、濃くしたり（濃縮）することで、体内の環境（血液）を、海に近い「一定の状態に保っているのです。それでは、私たちの腎臓は何をしているのでしょうか。

腎臓の役割

腎臓はそら豆の形をした握りこぶしほどの大きさの臓器で、腰の



(図1) 体表から見た腎臓と尿管の位置(後面)

少し上のあたりの背中に左右一つずつあります。(図一)

- ① 老廃物の排泄
- ② 体の水分量の調節
- ③ ナトリウム・カリウム・カルシウム・リン等、重要な電解質の

調節、血液を弱アルカリ性に保つ調節を行っています。

- ④ ビタミンDを調節して骨をつくる
- ⑤ 造血ホルモンを分泌して血液(赤血球)をつくる
- ⑥ 血圧の調節
- ①が障害されると、尿毒症になり、食欲がなくなったり、気分が

「慢性腎臓病」についてご説明します。

- 悪くなったりします。
- ②が障害されると、むくみが出たり、肺に水がたまって(胸水)息苦しくなったり、心不全になります。
- ③が障害されると、特に心配なのがカリウムで、カリウムが高くなると命にかかわるような重篤な不整脈が起きます。
- ④が障害されると、骨が弱くなります。
- ⑤が障害されると、貧血(腎性貧血)になり、造血剤の注射や輸血が必要になります。
- ⑥が障害されると、高血圧になります。

慢性腎臓病(CKD)とは

腎臓のはたらきが徐々に(慢性)に悪くなっている状態のことです。日本では成人の8人に1人が慢性腎臓病と言われています。

慢性腎臓病の原因は、腎炎や多発性嚢胞腎などのいわゆる「腎臓病(腎臓自体の病気)」のほか、高血圧や糖尿病といった生活習慣病も重要です。慢性腎臓病が進行すると最終的には末期腎不全となり、生きるためには透析や腎臓移植が必要になります。日本では、現在30万人以上の患者さんが透析治療を受けており、毎年約4万人の患者さんが透析導入になっています。透析導入になる原因の病気は、1位が糖尿病で約4割を占めています。2位が腎炎で約3割です。3位が高血圧で約1割です。

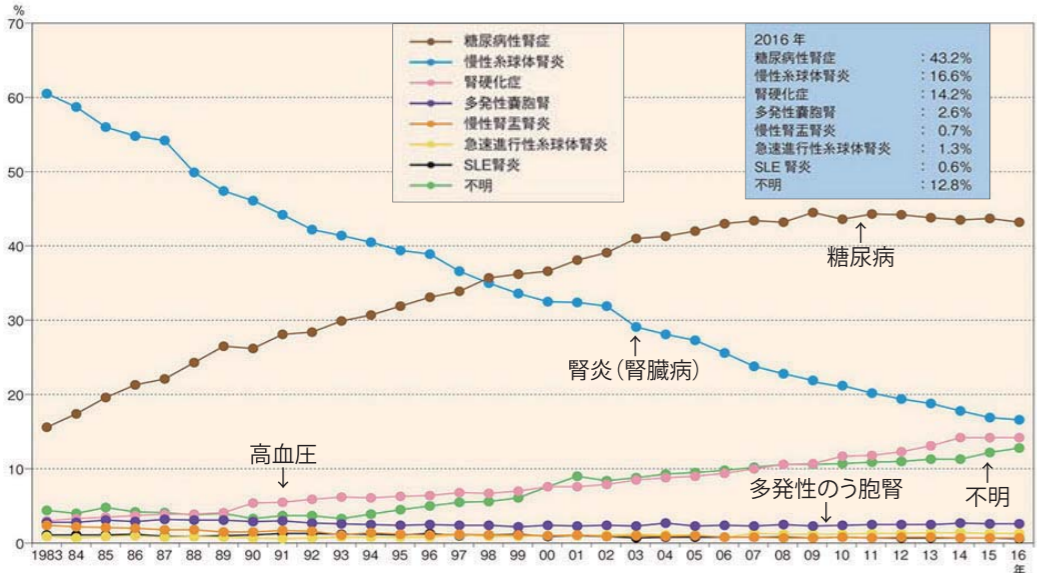
(図二) このように生活習慣病が原因で透析治療が必要になる場合も多いことを知っておいてください。また、透析に至らない軽症の慢性腎臓病であっても、心筋梗塞や脳卒中などの命にかかわる病気をまねくことがわかってきました。

まとめ

慢性腎臓病を治すことは難しいのですが、早期発見・治療することで、悪化を抑制し、心筋梗塞や脳卒中のリスクを減らすことができます。

健康診断でタンパク尿・血尿(尿潜血)や腎機能の異常(Cr・クレアチニンやeGFR)を指摘されたら、病院を受診するようにならしてください。

導入患者の主要原疾患の推移



【一般社団法人日本透析医学会「図説わが国の慢性透析療法の現況(2016年12月31日現在)」】

(図2) 導入患者の主要原疾患の推移(日本透析医学会 統計調査結果より出典)